

# おぐら山荘便り

2016年7月1日(金)発行

## 神楽女湖しょうぶ園へ

### 満開の花菖蒲を鑑賞♪

近隣へのドライブと散策は、おぐら山荘のご利用者様の楽しみの一つになっています。6月は花菖蒲が見頃を迎えた神楽女湖しょうぶ園へお出掛けしました。霧に包まれた幻想的な風景をご利用者様も楽しんでいました。

6月下旬に、別府市鶴見岳のそばにある神楽女湖にドライブと散策に出かけました。梅雨の合間の晴れとなったこの日の

しょうぶ園は、うっすらと霧に包まれており、花菖蒲の淡い紫色に染まった神楽女湖は幻想的で世界のようなでした。

散策の途中に東屋のベンチで休憩を取ると、座った場所から一面に咲いた花菖蒲を眺めることができました。思わず、ため息がでてしまうほど見とれている方や、「どこか外国に来てしまったのかと思うぐらいだよ」とおっしゃるご利用者様もいらっしやいました。神楽女湖の周辺は野鳥の姿が多く見られることで

も知られています。かすかに聴こえる鳥のさえずりを聴きながら、梅雨ならではの美しい花や景色をご利用者様も堪能されていきました。  
おぐら山荘では、これからも季節を楽しみむ行事を行い皆様と楽しい思い出を作っていきたいと思っております。



▲梅雨の晴れ間の神楽女湖しょうぶ園は、霧もたちこめ幻想的な雰囲気



▲一面に咲いた花菖蒲が神楽女湖を紫色に染め上げます



▲東屋から花菖蒲を眺めるもよし、その東屋を眺めるもよし



▲また来年もきれいな花を見に来ましょね!

● 職員インタビュー (前編) ●

ひとりひとりと  
家族のように向き合う  
介護ができれば

副施設長 | 中野大志 (なかのだいし)



母の勧めで介護の  
仕事を始めました

こんにちは、中野大志です。おぐら山荘の副施設長です。おぐら山荘には立ち上げ時から携わらせていただいています。



介護の仕事を始めてもう10年以上経ちましたが、実は大学卒業後は介護とは全く違うベンチャー会社に勤めていました。4年勤めて、会社の体制に思うところがあり退職。その後、介護職の母

の勧めがきっかけで介護の仕事を始めました。当初は介護職を長く続けるつもりはありませんでしたが、ある人との出会いで介護の仕事に没頭することになりました。ある人とは、現おぐら山荘取締役の徳丸威一郎さんです。

徳丸さんの仕事に  
感銘を受けました

当時、徳丸さんは私の部署のリーダーでした。徳丸さんに身近に接して仕事の取り組みや考え方にとても感銘を受けました。例えば、スタッ

フへの指導も「スタッフの個性も人それぞれだから」と一人一人の個性や力量に合わせて指示をする点。介護の仕事だけではなく、名刺の受け渡しや社会人としてのマナーも丁寧に教えてくれました。また、リーダーとして、上司とスタッフの中間の位置にいて気苦労も仕事量も多く一番頑張っているはずなのに、敢えて頑張っていないように見える姿を見て、自分も徳丸威一郎さんのように介護の仕事を真剣に取り組んでいきたいと強く思いました。

徳丸さんの元で経験を積み、施設以外の介護職に挑戦しようと思ひ、福岡の方で、訪問ヘルパーの仕事に転職しました。訪問ヘルパーの仕事をやってみて気づいたことは、時間やお世話の内容に制約があり、お一人ずつにじっくりと向き合うことが難しいということでした。自分は一人一人と時間をかけて家族のように向き合う介護がしたいのにとジレンマを感じていました。そんな時、徳丸さんから連絡がありました。

(次号の後編に続く)

ケーキでお祝い  
6月の誕生日♪

おぐら山荘では、毎月のお誕生日会を開催しています。6月は88歳を迎える女性のご利用者様のお誕生日会を行いました。バースデーケーキはご利用者様とスタッフで

飾り付けをしました。今回は黄桃とみかんをトッピングした、色鮮やかなフルーツケーキが完成しました。手と手を取り合っておめでとうの気持ちを伝え、笑顔いっぱい楽しい時間となりました。



▲それぞれのお皿にもフルーツを飾ります！



▲黄桃とみかんのポリウムたっぷりケーキ！



▲祝 88歳！ますますお元気でいらしてくださいね

**おぐら山荘**  
TEL 0977-85-8307  
〒874-0840  
大分県別府市大字鶴見1561番の2  
URL <http://ogura.link/>